



買取業者の動きが目立っている。

日本の廃棄物処理業者でも買取業者に売却するだけではなく、自ら買取事業を手掛けるところも見られる。さらに、古紙問屋なども、顧客

の国内、中国系の買取業者が絡んでおり、「産廃は下げ合い、

プラなど資源の買い取りは上げ合い」中部地方のリサイクル業者」という様相だ。従来、財容器や装リ

ル業者には容リ協で落札するのは賭けのようなもの。1年ご

とに事業規模が大きく変動するため、リスクが大きすぎる」として、事業所からのプラスチックスクラップの買い取りにシフ

プラリサイクルのリスク回避

資源の価格が再び上がり基調にある中で、プラスチックスクラップ(再生プラスチック原料)も、

から「一緒に買い取ってくれ」という要望もあり、プラスチックスクラップを買い取る業者も目立っ

サイクル協会の再商品化登録事業者になり、入札に参加していることもある国内の廃棄物処理リサイク

トしたところもある。輸出も需給状況が変動する。何らかのリスク対策が必要だ。

(中)